

別紙2

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくり推進計画原案の修正

県民政策コメントにより提出されたご意見等を踏まえ次のとおり計画原案を修正しました。

修正内容

- 1 P12で示す「**2050年CO₂ネットゼロを達成した滋賀県の姿**」に、以下の文言等を追加・修正しました
 - ・事業所への水素、合成メタンなどの供給（修正）
 - ・未利用バイオマスの活用（追加）
 - ・マイクロモビリティ（追加）
 - ・カーゴバイク（※イラスト）（追加）
 - ・CCUSの活用（追加）
- 2 P22の「**■人や物の円滑な移動や交流の促進**」の内容に以下の通り追記しました。

交通流量の調整や、道路整備や新技術に対応した道路交通システムの構築による交通渋滞の緩和を図ることで温室効果ガスの排出を抑制します。
- 3 P29の「**■CO₂ネットゼロ社会の実現に向けた取組を進めていくためのムーブメントの創出**」に、以下の文言を追記しました。

・WEBサイトを活用した情報発信・情報共有、表彰制度、ワークショップやセミナーの定期的な開催など、多様な方法で、CO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組について理解を深め、意見を交換し、「自分ごと化」する機会を設けていきます。
- 4 P29に以下の項目を追記しました。

■ ムーブメントを促進する人材の育成と活動支援
人びとの学習やムーブメントへの参加、協力を促進するための、専門知識とコミュニケーションスキルを持った人材を育成し、地域での活動を支援します。
- 5 P36の「**4 グリーンボンド等のESG投資の手法を用いた県債の発行を検討**」を以下のとおり修正しました。

(修正前)

 - 4 グリーンボンド等のESG投資の手法を用いた県債の発行を検討
CO₂ネットゼロ社会づくりに向けた施策を推進するための財源を確保するため、必要に応じてグリーンボンド等のESG投資の手法を用いた県債の発行についても検討する。

(修正後)

 - 4 必要な財政上および税制上の措置の検討
CO₂ネットゼロ社会づくりに向けた施策を推進するため、財政上および税制上の措置について検討するとともに、必要に応じてグリーンボンド等のESG投資の手法を用いた県債の発行についても検討します。